

※下線は更新部分

中国におけるアフリカ豚コレラ発生事例について

農林水産省の対応

農林水産省は、既に実施している夏期休暇期間中における口蹄疫等の防疫対策の徹底に加え、今般の発生をふまえ、動物検疫所では水際対策を強化。また、都道府県及び関係団体等の国内関係者に関連情報及び国内対策について通知済み。

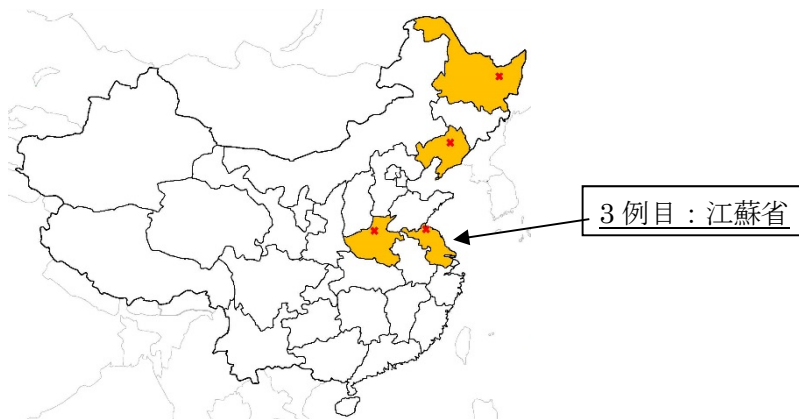
発生概要

(3例目)

中国で3例目のアフリカ豚コレラ（ASF）発生事例について、中国当局が8月19日に発表したプレスリリースの概要以下のとおり。

<場所>

江蘇省（こうそしょう）連雲港市（れんうんこうし）の農場



<経緯>

8月15日 江蘇省（こうそしょう）連雲港市（れんうんこうし）の農場において、原因不明の死亡豚を確認。

8月19日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラと確定

<中国当局の対応>

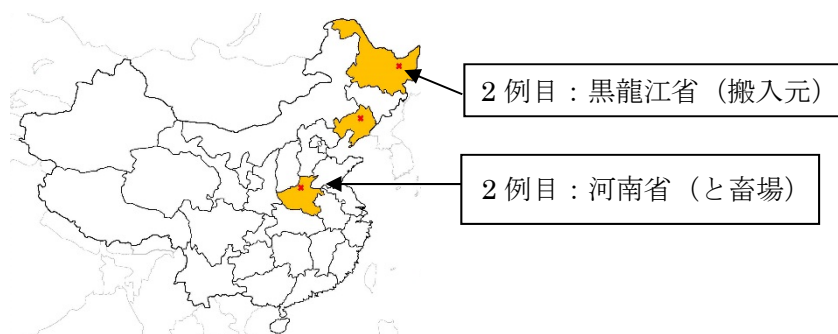
中国当局は、江蘇省へ指揮団を派遣し、発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚及び感受性動物及び畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

(2 例目)

中国で2例目のアフリカ豚コレラ（ASF）発生事例について、中国当局が8月16日に発表したプレスリリース及びOIE報告した内容等の概要以下のとおり。

<場所>

河南省（かなんしょう）鄭州市（ていしゅうし）のと畜場



<経緯>

8月14日 黒龍江省（こくりゅうこうしょう）佳木斯市湯原県（じゃむすしとうげんけん）から河南省鄭州市に搬入された260頭の豚のうち、死亡した30頭の豚でアフリカ豚コレラの症状が認められた

8月16日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラと確定

<中国当局の対応>

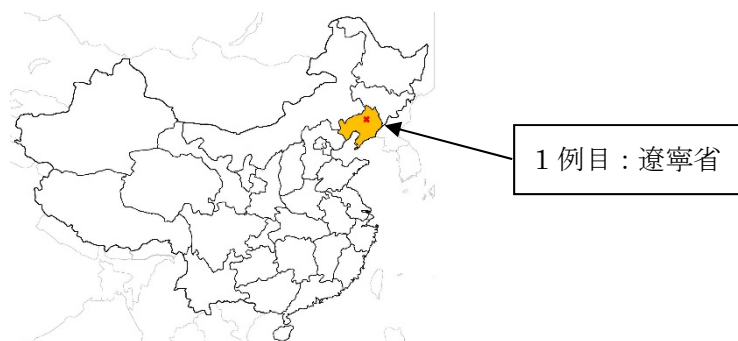
中国当局は、河南省鄭州市のと畜場を発生地点とし、半径3kmを疫区、10kmを脅威区域と設定。全ての死亡豚、殺処分された豚の消毒、疫区の隔離、封鎖、安全管理、情報管理等の対応を開始。また、豚の搬入元である黒龍江省では疫学調査を実施。

(1 例目)

中国で初のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 8 月 3 日、4 日、10 日、16 日に OIE へ、8 月 6 日に在中国日本大使館へ情報提供した内容等の概要以下のとおり。

<場所>

遼寧省 (りょうねいしょう) 瀋陽市 (しんようし) 瀋北新区 (しんほくしんく) の養豚繁殖農場 (383 頭飼養) 及び周辺農場



<経緯>

8 月 1 日	疑い事例確認 (383 頭のうち 47 頭が死亡)
8 月 2 日午後 5 時	中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査開始
8 月 3 日午前 11 時	ASF 確定 (遺伝子検査 (リアルタイム PCR))

<中国当局の対応>

中国当局は、発生農場から半径 3km の範囲を疫区に設定し、発生農場含む疫区内の全ての豚 8,116 頭の殺処分・消毒を完了。発生農場及び疫区における厳格な封鎖・消毒等を継続。疫区内に計 8ヶ所の消毒地点、疫区内の全ての農場、出入りする車両等に対し消毒を実施中。中国当局は農場、市場、と場、工場、家畜又は畜産物処理場を含む地点における疫学調査と緊急サーベイランスを、重要区域 (北京市、天津市、河北省、内蒙古自治区、遼寧省、吉林省、黒龍江省、広東省、甘肅省、新疆ウイグル自治区) を中心に全土で実施しており、8 月 14 日までに 35,540,000 頭、10,226 サンプルの調査を終え、脅威区域 (発生地点から 3-50km 圏内で設置。実際の距離は不明。) 内の 2ヶ所の村から採材された 7 サンプルでアフリカ豚コレラ核酸陽性。当該の村の生きた豚は淘汰された。

また、発生農場の豚の追跡調査により、感染豚の由来農場が判明。環境サンプルはアフリカ豚コレラ核酸陽性。由来農場付近の 676 頭の豚を淘汰。